

製品名: JAK3 (3T5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12821**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	JAK3
別名	JAK 3; JAK L; JAKL; Janus kinase 3 (a protein tyrosine kinase, leukocyte); L JAK; Leukocyte janus kinase; LJAK; Protein tyrosine kinase leukocyte;
遺伝子 ID	3718.0
SwissProt ID	P52333
免疫原	ヒト JAK3 の合成ペプチド

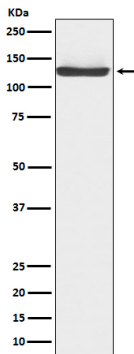
背景

インターロイキン-2 およびインターロイキン-4 シグナル伝達経路に關与する非受容体型チロシンキナーゼ。STAT6、IRS1、IRS2、およびPI3Kをリン酸化します。細胞の成長、発達、分化などのさまざまなプロセスに關与する非受容体型チロシンキナーゼ。自然免疫と獲得免疫の両方で重要なシグナル伝達イベントを媒介し、T細胞発達中の造血において重要な役割を果たします。細胞質内では、IL2R、IL4R、IL7R、IL9R、IL15R、IL21Rなどの共通サブユニットガンマを共有するI型受容体と結合することにより、シグナル伝達において極めて重要な役割を果たします。細胞表面受容体へのリガンド結合後、受容体の細胞質末端の特定のチロシン残基をリン酸化して、STATタンパク質のドッキング部位を形成します。その後、受容体にリクルートされたSTATタンパク質をリン酸化します。リン酸化STATはホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、核へ移行して遺伝子転写を活性化します。例えば、IL2によってIL2Rが活性化されると、JAK1とJAK3分子がIL2Rのベータ鎖(IL2RB)およびガンマ鎖(IL2RG)サブユニットに結合し、両受容体サブユニットの細胞質ドメインにおけるチロシンリン酸化を誘導します。次に、STAT5AとSTAT5BがJAK1とJAK3によってリクルートされ、リン酸化され、活性化されます。活性化されると、二量体化したSTAT5は核へ移行し、サイトカイン特異的な様式で特定の標的遺伝子の転写を促進します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



TF-1細胞溶解物中のJAK3発現のウェスタンブロット解析。